

第三十五回本郷ふじやま公園古民家歴史部会歴史探訪 「よこはま古民家」とその周辺歴史散策

平成20年12月4日(木) (集合; JR「根岸駅」改札口9時50分・解散14時頃。

「Ⅵ」根岸なつかし公園「旧柳下邸」(休日; 第2火曜日, 祝日の場合は翌日, 12/29~1/3)

指定管理者; 根岸なつかし公園「旧柳下邸」運営委員会 住所; 磯子区下町10・電話; 04

5-750-5022・FAX; 同左

最寄り駅; JR根岸線「根岸駅」徒歩10分。

特徴; 大正時代の可愛い洋館付き住宅と庭園。

行程; 根岸駅→①外国人遊歩道→②大聖院→③根岸八幡神社→④疎開道路→⑤旧柳下邸・根岸なつかし公園(案内付)→⑥海昭寺→⑦宝積寺→⑧四間道路→⑨市電保存館(昼食)→バス停「市電保存館前」→根岸駅(約10分)・磯子駅(約15分)着。

散策場所と内容

1・外国人遊歩道(不動坂・西町・八幡橋・東町)

江戸時代末期(幕末)に、横浜山手に住む外国人の公使たちの強い要望で造られました。不動坂を下り、八幡橋辺りまで続いていたと言われる外国人遊歩道は、眼下に根岸湾が広がる風光明媚な場所が選ばれました。現在、その面影はなくなりましたが、居留外国人のためにつくられた優雅な散歩道だったようです。

2・大聖院(だいしょういん・高野山真言宗・根岸山覚王寺・本尊, 阿弥陀如来不動明王, 安阿弥作・市内弘法大師霊場24ヶ所第15番・市内33観音21番・水かけ観音・地藏菩薩・お砂踏み20枚敷石に四国八十八ヶ所のお砂が埋めてあり, 1巡りすると四国巡拝した事になる)

天文5年(1536)宝生寺住職智堯(ちぎょう)の開山。天井には力強い「赤龍(せきりゅう)」が描かれています。作は日本画壇を代表する「赤」の作家・奥田元宋(おくだげんそう)画伯。昭和56年、龍子夫人7回忌供養に奉納され、夫人の名にちなんで「赤龍」・まわりには可憐な門人達の花々が彩ります。江戸中期の彫刻「雨乞いの竜」と呼ばれる欄間が残っています。明治末期迄海中に浸して雨乞いの儀式に使っていた歴

史がある。正面欄間「雨乞いの竜」元禄時代作。

3・根岸八幡神社（ハチマン・根岸村鎮守・祭神、菅田別命・寺宝、太刀三振無名・榊まつり・境内社、金刀比羅宮、大物主神・地主稻荷神社、宇迦之御魂神・巖島神社、多紀理姫命、市杵島姫命）

欽明天皇12年（551?・在位539?～571）根岸湾に正八幡の神像が漂着し里人が此を祀って始まるという。昭和3年現社地へ奉遷、大正10年現社殿を造営。同年村社に列した。祭りは、3年に1度の8月中旬（15日）、シンボルでもある御輿を氏子自身がつくる珍しい祭り、櫓の丸太をくり抜いた台に白滝不動で清めた榊の枝を麻縄で縛りながら仕上げる。御輿は「榊じゅばん」と呼ばれる衣装を身に着けた担ぎ手と共に町を乱舞する。

毎年6月30日大きな茅（チ）の輪をくぐり、無病息災を祈る神事は300年の歴史です・神社裏、社業林（ジャガリン）は県の天然記念物指定・鳥居脇の神木大銀杏は樹齢600年。

4・疎開道路

終戦直前（昭和19年頃）までは、道路幅も2m程であった。空襲に備え防火帯として沿道家屋を強制疎開させて道路を造った道路で、磯子橋周辺の町を縦横に走っています。それから60年以上たった町並みは、穏やかそのものです。磯子橋通疎開道路（市道・中原4丁目～中原4丁目延長270m）根岸疎開道路（市道・馬場町～原町延長900m）・疎開道路（市道・久木町～中浜町延長350m）・滝頭疎開道路（市道・丸山2丁目～中浜町延長800m）・坂下疎開道路（市道・滝頭2丁目～坂下町延長500m）。

参考①磯子の被爆；第1回空襲昭和17年4月17日～20年2月16日，4月15日，4月16日，5月29日，6月10日など20年8月13日まで25回とも28回とも言われる。

参考②滝頭（タカヅシ）町名由来；諸説有るが，西方の低い丘陵の起状が「竜」に見える起因と思われる。この周辺の寺院に「竜」を冠せるものが多い。宝生寺（青竜山・堀ノ内）・密蔵院（竜頭山・滝頭）・金蔵院（前身は霊雲山竜錫寺）・竜珠院（岡村）。滝は後世になってから竜を誤記したと思われる等と言われる。

5・旧柳下邸（市指定有形文化財・開園時間9時～16時30分・入園，入館無料・休館第2火曜）

この建物は明治～大正期の有力商人であった柳下氏により建設され，大正12年の関東大震災では一

部倒壊したものの、大部分は損失を免れ、その後、戦争など激動の昭和史の中を、柳下家の人々により大切に守り受け継がれてきました。横浜市では平成8年に敷地を取得し、建物の寄贈を受けて、出来る限り創建当時の姿を復元しました。平成14年11月には市指定有形文化財として指定されました。館内では大正～昭和初期の暮らしの雰囲気が体験でき、また市民の文化活動の場として貸室をご利用いただけます。

**6・海照寺（高野山真言宗・泉久山・本尊、阿弥陀如来不動明王・磯子老人憩いの家・市内弘法大師霊場
24ヶ所第14番・七福門・水子地藏尊、弘法大師入定千百五拾年記念造立）**

開基創建不詳だが、寛永初年（1624～）尊珍が中興して以来今日に及んでいる。現在の建物は前住職（第24世）證道（ショウドウ）により昭和5年より9年に至り完成されたと言われる。

**7・宝積寺（妙吉祥・高野山真言宗・明王山・本尊、聖観世音菩薩、両剣不動尊・磯子七福神、恵比寿神、
商売繁盛・本堂正面左右側面に上り龍、下り龍彫刻、・市内弘法大師霊場24ヶ所第13番・
市内33ヶ所観音第26番）**

鎌倉時代に建立されたと伝えられる。昭和初期に建てられた総檜造りの本堂が見事な構えを見せている。入口にある力強い1木造りの上り龍・下り龍の彫刻や、季節の移り変わりをさせる美しい庭園。本堂向かって左脇に子供達が健やかに育つようにと発願した「千体地藏」や本堂には磯子七福神の恵比寿様も祀られている。

8・四間道路（丸山町～岡村町市道延長800m）

関東大震災後に整備され、田畑を埋めて道路を造成し、道幅が四間（約3.7m）あったことからその名が付けられたと言われています。大規模な工事で弘明寺までの幹線道路であった。今の尺度では広く感じられませんが、名前になるくらい当時は画期的な広さだったのかも知れません。

**9・市電保存館（横浜市電開通明治37年昭和47年姿消す・開館9；30～17；00・大人300円、
団体20人以上2割引、65歳以上無料、休館毎週月曜日祝日翌日）**

当時の車両7台・160平方メートルの広さの鉄道模型展示・体験ミニ鉄道コーナー・地下鉄運転体験シミュレーターコーナー（有料）等。

第三十五回行程案内図

大聖院〜根岸八幡宮〜旧柳下邸〜宝積寺

